

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：秋まき年内どりホウレンソウの優良品種（第72回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕ホウレンソウ「ダイヤ交配スパイダーデューク」、「YPP051」、「アサヒ AS-LG2406」、「MSS-1370」、「NSP-117A」、「ダイヤ交配ヴァンガード19」、「NSP-116A」、及び「ビッグボス」は秋まき年内どり栽培の優良品種である。			
キーワード <sup>※</sup> ホウレンソウ、品種審査会、低温伸張性、外観品質			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 野菜研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、 生産振興課	
実施期間	2024年度		

### 〔目的及び背景〕

千葉県のホウレンソウは令和5年産で出荷量18,400tと全国第2位の品目であり、東葛飾地域など都市近郊において冬期を中心に広く栽培されている。ホウレンソウ品種に求められる特性は作型により異なっており、秋まき年内どりホウレンソウでは、発芽や初期生育の揃いが良好であることに加えて、生育期後半は低温伸張性に優れることが重要である。そこで、10月播種の秋まき年内どりホウレンソウを対象に種苗会社より出品された品種を栽培して発芽の安定性、収量性、外観品質等に優れ、千葉県に適した優良品種を選定する。

なお、本試験は第72回千葉県野菜品種審査会（ホウレンソウの部）として実施する。

### 〔成果内容〕

- 栽培期間中、平均気温は11月第2半旬及び第5半旬を除き、平年値より高く推移した。過去5年の平均値と比較すると、生育期後半の気温は例年並みであり、播種後2週間の気温が特に高い傾向である（図1）。日照時間は生育初期で短く、生育後期の日照時間は長かった（図2）。
- 第72回千葉県野菜品種審査会において審査された25品種のうち、入賞となったのは「ダイヤ交配スパイダーデューク」（トキタ種苗（株））、「YPP051」（住化農業資材（株））、「アサヒ AS-LG2406」（（株）アサヒ農園）、「MSS-1370」（（株）武蔵野種苗園）、「NSP-117A」（ナント種苗（株））、「ダイヤ交配ヴァンガード19」（トキタ種苗（株））、「NSP-116A」（ナント種苗（株））、「ビッグボス」（山陽種苗（株））の8品種である（表1、写真1）。
- 圃場での苗立率について、播種後7日後に実施した調査では8割を下回る品種が11品種あり、播種後14日後に実施した調査ではいずれの品種も8割を超えている

(表2)。播種後7日後時点の苗立率が低かった品種は生育の揃いが悪く、いずれの品種も入賞していない。

- 4 入賞品種はいずれも立性で生育の揃いが良好であることに加え、葉柄は長い傾向が見られる。葉形は品種により欠刻の数に違いが見られるものの、いずれも収穫時点での切れ込みは浅く、やや丸型から中間型の様相で剣型の葉は少ない。1位の「ダイヤ交配スパイダーデューク」、3位の「アサヒ AS-LG2406」、4位の「MSS-1370」、7位の「NSP-116A」は最大葉長が長く、低温伸張性が高いと推察される。2位の「YPP051」は葉長が27.7cmと短い一方、面積当たりの収穫株数が多く、極端に小さい株が少ない。5位の「NSP-117A」と6位の「ダイヤ交配ヴァンガード19」は葉身の幅がやや狭くコンパクトな印象があり、収量は他入賞品種と比較して少ない傾向であるものの、葉色が濃く、外観品質に優れている。8位の「ビッグボス」は最大葉長に対して重量が重い傾向があり、株張りもしっかりとしている(表3)。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域のハウレンソウ生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

「YPP051」は番号名のまま販売中、「アサヒ AS-LG2406」は「グリーンデイ」という商品名で販売予定、「MSS-1370」は商品化に向けて準備中、「NSP-117A」は「スタンドフォース20」という商品名で数量限定販売中、「NSP-116A」は「エアーフォース20」という商品名で数量限定販売中となっている。(令和7年時点)

[成果の概要]

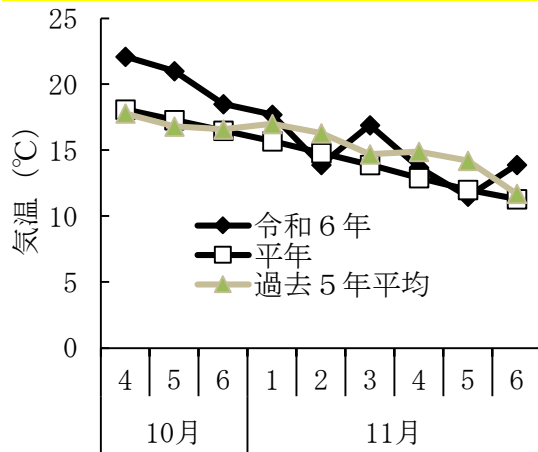


図1 栽培期間中の半旬ごとの平均気温  
注) アメダス千葉のデータを用いた

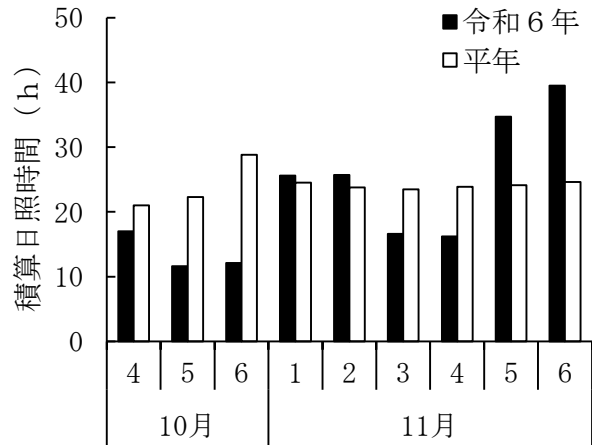


図2 栽培期間中の半旬ごとの積算日照時間  
注) アメダス千葉のデータを用いた

表1 審査結果 (入賞品種のみ抜粋)

順位	得点			品種名	出品社名
	立毛	収穫物	合計		
1	82.0	82.3	164.3	ダイヤ交配スパイダーデューク	トキタ種苗(株)
2	80.7	83.5	164.2	YPP051	住化農業資材(株)
3	81.6	81.1	162.7	アサヒAS-LG2406	(株)アサヒ農園
4	80.2	82.0	162.2	MSS-1370	(株)武蔵野種苗園
5	79.8	82.2	162.0	NSP-117A	ナント種苗(株)
6	79.2	82.4	161.6	ダイヤ交配ヴァンガード19	トキタ種苗(株)
7	81.0	79.8	160.8	NSP-116A	ナント種苗(株)
8	78.8	81.9	160.7	ビッグボス	山陽種苗(株)

注1) 配点：立毛審査 100点、収穫物審査 100点、合計 200点満点

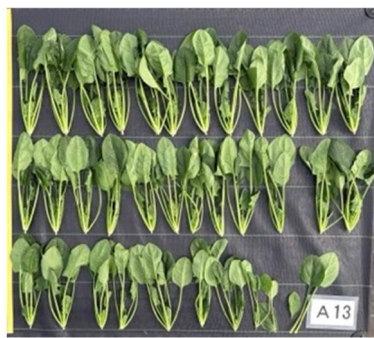
2) 試験場所：野菜研究室無加温パイプハウス（千葉市緑区）、播種日：10月17日、審査日：12月5日

3) 栽植様式ベッド幅 120cm、条間 15cm、株間 5cm、6条でシードテープによる1粒播種

4) 10a 当たり施肥 窒素 11.2kg、リン酸 11.2kg、加里 11.2kg



1位「ダイヤ交配スパイダーデューク」



2位「YPP051」



3位「アサヒ AS-LG2406」



4位「MSS-1370」



5位「NSP-117A」



6位「ダイヤ交配ヴァンガード19」



[発表及び関連文献]

[その他]

表2 出品品種の苗立率

順位	品種名	苗立率 (%)					
		A区		B区		反復平均	
		7日目	14日目	7日目	14日目	7日目	14日目
1	ダイヤ交配スパイダーデューク	93	94	81	89	87	91
2	YPP051	90	94	70	84	80	89
3	アサヒAS-LG2406	86	94	90	98	88	96
4	MSS-1370	89	94	96	99	93	96
5	NSP-117A	89	94	93	94	91	94
6	ダイヤ交配ヴァンガード19	84	84	96	95	90	89
7	NSP-116A	94	99	89	95	91	97
8	ビッグボス	90	90	76	85	83	88
9		66	86	70	95	68	91
10		83	91	83	88	83	89
11		93	98	98	99	95	98
12		84	93	85	88	84	90
13		78	88	61	84	69	86
14		78	86	83	88	80	87
15		83	95	55	83	69	89
16		76	86	81	89	79	88
17		73	85	76	90	74	88
18		66	81	71	80	69	81
19		80	94	78	94	79	94
20		85	93	81	95	83	94
21		88	98	75	95	81	96
22		76	85	69	80	73	83
23		66	79	74	85	70	82
24		81	86	66	81	74	84
25		76	86	50	79	63	83

注) 1区80株調査

表3 入賞品種の形態

順位	品種名	1株重 (g/株)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	最大葉					欠刻数 (箇所/枚)
					葉長 (cm)	葉身長 (cm)	葉柄長 (cm)	葉幅長 (cm)	葉身/株長	
1	ダイヤ交配スパイダーデューク	28.9	12.6	50.7	32.9	13.2	19.7	7.4	0.40	1.6
2	YPP051	22.0	10.8	56.3	27.7	11.2	16.5	7.4	0.41	2.5
3	アサヒAS-LG2406	29.2	13.1	52.9	33.2	12.9	20.3	7.3	0.39	1.5
4	MSS-1370	27.4	10.8	50.9	32.1	12.8	19.4	7.0	0.40	2.8
5	NSP-117A	21.1	13.0	55.7	29.6	11.7	17.9	6.0	0.40	1.3
6	ダイヤ交配ヴァンガード19	21.5	11.8	57.5	28.4	11.3	17.2	6.1	0.40	1.2
7	NSP-116A	27.2	11.2	48.8	34.6	13.0	21.6	7.2	0.37	2.0
8	ビッグボス	28.1	12.2	56.1	28.1	12.4	15.7	7.8	0.44	2.3
9		26.0	10.4	54.8	29.9	12.0	17.9	7.5	0.40	2.8
10		21.0	12.0	59.6	26.4	11.1	15.2	7.0	0.42	1.1
11		20.5	11.3	51.2	28.1	12.5	15.6	6.8	0.44	1.3
12		32.2	13.6	48.3	32.1	13.8	18.3	7.6	0.43	1.5
13		25.5	8.5	51.8	29.1	13.2	15.9	7.5	0.45	2.2
14		20.8	10.4	57.6	26.7	11.2	15.5	6.7	0.42	1.9
15		27.7	12.1	54.7	26.5	10.6	15.9	6.5	0.40	2.5
16		25.1	10.1	56.1	26.9	12.0	14.9	6.8	0.45	1.1
17		24.5	11.0	52.6	28.8	12.6	16.2	8.0	0.44	2.0
18		25.6	11.9	59.6	26.8	11.9	14.9	7.0	0.45	2.0
19		23.9	12.8	56.4	28.0	10.8	17.3	7.0	0.38	2.8
20		18.4	11.7	56.3	25.5	10.2	15.3	5.9	0.40	1.8
21		21.7	10.1	56.2	27.0	11.8	15.2	5.9	0.44	1.9
22		21.9	8.1	59.8	25.6	12.8	12.8	6.8	0.50	0.8
23		31.0	11.1	55.8	28.7	12.3	16.4	7.8	0.43	3.8
24		20.2	7.9	59.8	23.3	11.4	11.9	7.3	0.49	1.7
25		20.8	9.9	56.9	23.9	11.7	12.2	7.0	0.49	0.7

注1) 各区6株、2反復調査。葉数は子葉2枚、下葉2枚除去後の枚数、葉色は株数3葉計測した平均値

[発表及び関連文献]

令和7年度試験研究成果発表（野菜部門）

[その他]